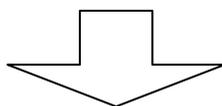


保守点検記録等のデータ活用に関する第2回WGにおける検討事項

■事務局からデータ活用に関して、点検記録項目ごとに①データ活用により高度化・効率化ができるようになる事項、②データの解析手法、③課題、④データ出力の活用例について整理していくこと及びメーカーあるいは法定検査の結果等の情報も活用したデータ活用についても視野に入れて検討することについての提案を行い、データ出力例として水質測定結果等をグラフしたものを例示して意見を求めたところ、以下の意見があった。

- 単純に点検記録の見直しを行うのか、点検記録を組み合わせることによって何に生かせるかの議論を行うのか等、データ活用による管理の高度化の部分のアウトプットを明確にする。
- データ活用による管理の高度化及び効率化という、流入条件によって設定を変える等の提案をするものだと考えていたがそうではないか。
- データをグラフ化する等して同型式のデータと比較すれば何か提案できるかもしれないが、異なる型式で比較しても施工等の話にしかならないのではないか。型式ごとにグラフ化して傾向管理をしましょうという啓蒙活動にしかならないのではないか。
- 記録データの活用の主目的(どのような使われ方を想定するのか)を明確にする。
大枠を定義してから各資料の内容を詳しく提示しなければ全体像が見えなくなるのではないか。事務局から提案された項目で高度化、効率化に資する項目があるか。



- 環境省と事務局でアウトプットの具体的なイメージを再度洗い出すこととする。
(環境省)